

広島大学

令和6年度 広島大学光り輝き入試

総合型選抜 I 型

解答例又は出題の意図等

教育学部 第三類(言語文化教育系)

日本語教育系コース

科目名:小論文

解答の公表に当たって、一義的な解答が示せない記述式の問題等については、「出題の意図又は複数の若しくは標準的な解答例等」を公表することとしています。

また、記述式の問題以外の問題についても、標準的な解答例として正答の一つを示している場合があります。

令和6年度 広島大学光り輝き入試
総合型選抜（I型）
教育学部
第三類（言語文化教育系） 日本語教育系コース
小論文問題 解答例又は出題の意図等

第1問

設問1（解答例） 「イメージ説」とは、例えば「イヌ」という言葉が私たちの心の中でイヌのイメージと結びついており、そのイメージを介して「イヌ」という言葉の意味が表されているという考え方である。ただし、「民主主義」や「理性」のように、結びつく特定のイメージがない言葉はイメージ説では説明できないという問題点もある。（146字）

設問2（解答例） 意味の「使用説」とは、言葉はそれぞれに特有の仕方で用いられるという考え方である。例えば「イヌ」という言葉はイヌがいる状況で使用され、特定の行動や聞き手の言葉を誘発することもある。言葉が持つこのような働きが「意味」であり、その働き方を理解することが「意味を理解する」ことであると筆者は考えている。（147字）

設問3（出題の意図） 本文では「意味」の「イメージ説」と「使用説」という二つの説が紹介されている。日本語教育において「意味」をどのように捉え、日本語学習者が「意味」を習得するための方法について、それぞれの説における「意味」の捉え方を理解した上で考えられているかという点を見たい。

第2問

設問1（解答例） 教科学習では「面積」「体積」「比率」など教科の内容に関わる語が見られるが、自由時間などではそれらの語が見られることは少なく、「広い」「大きい」「面白い」などの語が同級生等との会話の中で見られる。（97字）

設問2（解答例） 子どもはまだ精神的に未成熟な状態であり、感情抑制能力が低く、学習に必要な体力、持続力、集中力も大人に比べて乏しい。母語も発達段階であることが多く、母語を介した指導が難しい場合があることに加えて、母語の維持も必要となる。また、親の都合で来日し学習するため、学習動機が低く、学習目的も本人にははっきりと意識されないことが多い。他方、言語の習得は成人と比べて速いため、大人とは異なる指導法が必要になる。（198字）

設問3（出題の意図） 日本語を学ぶ子どもたちにとって、母語や母国の文化がどのような意味を持つのかについて、継承の問題やアイデンティティとの関わりなど、広い視野を持つことが出来ているかという点を見たい。

第3問

設問1（解答例） これを受けて、日本の多くの大学はG7や他の国々における相手との交流をさらに推進することになるだろう。

令和6年度 広島大学光り輝き入試
総合型選抜（I型）
教育学部
第三類（言語文化教育系） 日本語教育系コース
小論文問題 解答例又は出題の意図等

設問2（出題の意図） 本文に即して当該箇所を正確に理解した上で、自らが大学でどのようなことに取り組むべきと考えているかを見たい。

設問3（出題の意図） 本文に即して当該箇所を正確に理解した上で、日本語教育の観点から、具体的の方策を考えることができているかを見たい。